

石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2006）

内藤華子¹⁾・渥美法子²⁾・石岡真子²⁾・大口弘美²⁾・
鎌田宣夫²⁾・定別当一則²⁾・高橋美恵子²⁾・田辺英
世²⁾・芳賀正志²⁾・林 迪子²⁾・三浦美恵子²⁾・安田
秀子²⁾・若松 隆²⁾

はじめに

石狩浜での自然案内や環境学習、各種調査研究における基礎情報として、また、石狩浜の自然環境のモニタリングの指標として活用できるよう、海浜植物保護センターでは、市民ボランティアの方々とともに、2004年より石狩浜に生育する代表的な植物の開花状況および野鳥の観察状況を記録している。

2006年の調査結果をここに報告する。

調査方法

調査は4月～10月まで、およそ2週間おきに、石狩川河口地域で行った（表1、図1）。はまなすの丘公園入り口から湿原部（図2）までを歩き、代表的な植物種の開花状況を、開花はじまり（▲）、開花（●）、終わりかけ（▼）に分けて記録した。また、果実の目立つ植物8種については、結実状況を、実り始め（△）、結実（◎）、落果（▽）に分けて記録した。

野鳥についても、定期観察時に観察された種類を記録した。4月5日は、例年この時期渡りの中継として飛来するカモ類を確認するため、茨戸川を中心に観察した。なお、観察頻度の少ない種類については、定期観察時以外に観察されたものも記録した。

また、野鳥以外の動物類についても、観察されたものについては、記録した。

調査は市民ボランティアが主体となって行い、延べ88名が取り組んだ。

表1. 2006年度定期観察日と調査参加人数

4/5	4/19	5/3	5/17	6/7	6/21	7/5	7/19	8/2	8/16	9/6	9/22	10/4	10/18
2	10	8	8	11	9	5	9	6	5	6	3	4	4

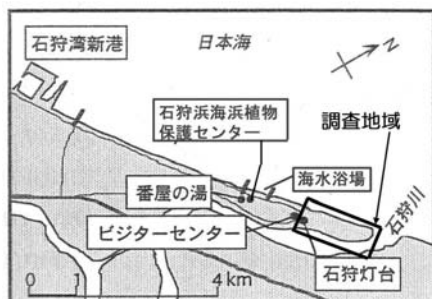


図1. 調査地域

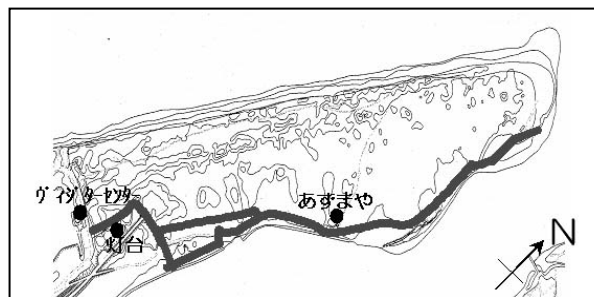


図2. 主要観察ルート

調査結果

- 1) 石狩浜海浜植物保護センター 〒061-3292 石狩市弁天町48-1
2) 石狩浜海浜植物保護センターボランティア (〒061-3292 石狩市弁天町48-1 石狩浜海浜植物保護センター付)

表1に植物の開花状況を示した。2006年は、はまなすの丘公園入り口から湿原部までの観察を中心に行ったため、河口先端部にしか生育しないオカヒジキなどの開花記録はなく、計62種を観察した。

観察頻度が月2回であったため、開花期間が短い種は、開花はじまり(▲)、または終わりかけ(▼)だけの記録となっている種もある。

表2に野鳥の観察状況を示した。なお、2006年は、はまなすの丘公園入り口から湿原部までがおもな観察エリアとなったため、河口先端部に飛来するシギチドリ類の記録は、前年度に比べて不十分となっている。

野鳥以外の動物の観察状況は、次のとおりであった。

4月19日に、木道沿いおよび湿原部で、エゾヤチネズミによるアキグミの樹皮食いの痕と、巣穴および糞を観察した。4月19日に、湿原部の沼で、オタマジャクシを観察したが、種類は同定できていない。4月19日、5月13日、9月6日に、木道沿いで、ニホントカゲを観察した。9月21日、10月5日に、アマガエルの声を確認した。キタキツネは、巣穴を複数箇所を確認し、個体も複数回目撃されている。

表2. 2006年石狩浜植物開花状況

▲:開花はじまり(一部開花・多数つぼみ)、●:開花・花見ごろ(多数開花)、▼:花終わりかけ(一部開花・多数散花)
 △:実りはじめ(未熟だが膨らんでいる)、◎:完熟(多くの実が色づいた)、▽:落果(多くの実が落ちた、なくなった)

種名	観察日	4		5		6		7		8		9		10	
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
タネ科	ヒメスイバ					●	●	●							
ナデシコ科	エゾカワラナデシコ							●	●	▼					
	オオヤマフスマ			▲		●	●	●							
キンポウゲ科	アキカラマツ							●							
	ハイキンポウゲ					●	▼								
オキリソウ科	オトギリソウ							●							
アブラナ科	ハマハタザオ			▲		●	▼								
バラ科	ハマナス					▲	●	●	●/△	●/△	▼/◎	●/◎	▼/◎	▼/◎	▼/◎
	ナワシロイチゴ							●		◎					
	ナガボノシロワレモコウ									▲	●	●	▼		
マメ科	イタチハギ							▲	●						
	ハマエンドウ					●	●	●	●	▼	▼	●	●	▼	
	エゾノレンリソウ							▲	●						
	メドハギ									▲	●				
	ムラサキツメクサ					▲	●	●	●	▼	▼	●	▼	▼	▼
ニシキギ科	コマユミ					●									◎
ブドウ科	ヤマブドウ									△	△	△	◎	◎	
グミ科	アキグミ					▲	●	△	△	△	△	△	△	△	◎
スマレ科	イソスマレ:セナミスレ			▲	●	▼									▼
ミハギ科	エゾミソハギ									●	●				
アカバナ科	メマツヨイグサ							●	●	●		●			▼
	オオマツヨイグサ							●	●	●		▼	▼		
セリ科	ハマボウフウ							●	●						
	オオチドメ							●							
サクラソウ科	クサレダマ								●						
アカネ科	ホソバノヨツバムグラ							●	●						
	エゾカワラマツバ							▲	●					▼	▼
	アカネムグラ							●							
ヒルガオ科	ハマヒルガオ						●	●	▼						
シソ科	ナミキソウ										●				
ゴマノハグサ科	ウンラン									▲	▲	●	●		

種名	観察日	4		5		6		7		8		9		10	
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
ゴマノハグサ科	ミヤマママコナ										●				
オオバコ科	ヘラオオバコ					▲	●	●							
スイカスラ科	キンギンボク					●			△	◎		◎			
キキョウ科	サワギキョウ										●	▼			
キク科	ノコギリソウ							●	●	▼		▼			
	セイヨウノコギリソウ							●	●						
	ユウゼンギク											▲	●	●	▼
	ヤナギタンポポ										●	●			▼
	ブタナ:タンポポモトキ						●	●	●	●	▼	●	●	▼	▼
	オグルマ										●	●			▼
	カセンソウ										●	▼			
	ハマニガナ						●	●		●		●		●	▼
	アキノノゲシ														
	コウゾリナ							●	●		▼	●			▼
	オオアワダチソウ										▲	●			
	コガネギク												●	●	
	セイヨウタンポポ				●	▼									
ユリ科	タチギボウシ								●						
	オニユリ										●				
	エゾスカシユリ					●	●	●	▼						
	ヒメイズイ					●									
アヤメ科	ノハナショウブ							●	●						
	キショウブ						●	▼							
イグサ科	スズメノヤリ			▲	▼										
イネ科	ハマニンニク:テンキグサ					▲		▼							
	ススキ										●	●			
カヤツリグサ科	チャシバスゲ			▲	●										
	コウボウムギ					●		△	△	◎	◎	◎		◎	◎
	コウボウシバ					▼		◎	◎	▽					
シソ科	クゲヌマラン					●	▼								
	ネジバナ										●				

表3. 2006年石狩浜定期観察時に観察された野鳥リスト

観察種	メモ
ウミウ	
アオサギ	
オオハクチョウ	4.5.八幡
マガモ	
コガモ	4.24.親船名無沼
ヒドリガモ	4.5.茨戸川
オナガガモ	4.5.真薫別川.1000羽以上の大群
キンクロハジロ	4.24.親船名無沼
カワアイサ	4.5.真薫別川
トビ	
オジロワシ	4.5.真薫別川
オオワシ	4.5.真薫別川
チュウヒ	6.10.はまなすの丘
ハヤブサ	7.22.はまなすの丘
チゴハヤブサ	7.5.はまなすの丘
オオセグロカモメ	
シロカモメ	4.5.茨戸川 6.7.石狩川河口先端
カモメ	7.19.はまなすの丘
キジバト	8.2.声
カッコウ	7.19.声
ヒバリ	
ショウドウツバメ	
モズ	6月.海浜植物保護センター裏手にセアカシア林
ハクセキレイ	
ノゴマ	
ノビタキ	
ウグイス	5.17.声
コヨシキリ	6.10.はまなすの丘
ホオアカ	
オオジュリン	
カワラヒワ	
ハシブトガラス	
ハシボソガラス	